

2017年4月13日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「アジアンインベスター アセット・マネジメント・アワード 2017」  
**日興アセット、日本における最優秀運用会社**

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)はこのほど、アジアにおける優秀な運用会社を選ぶ「アジアンインベスター アセット・マネジメント・アワード 2017」(主催:「アジアンインベスター」)において、日本における最優秀運用会社に贈られる「ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー2017(日本)」を受賞しました。同アワードの受賞は過去7年間で6度目となります。日本国内のマイナス金利環境の中で良好なリターンをお届けする運用能力や、日本株式アクティブ運用戦略の優れた運用成果が注目を集め、2016年を通じて運用資産残高が大きく成長したことが高く評価されたものです。

日興アセットの常務執行役員兼 CIO-ジャパンである辻村裕樹は次のように述べています。「2016年を振り返ると、投資家は日銀のマイナス金利政策という新たな課題に直面しました。日興アセットの中核的な競争優位性の一つは、投資ソリューションの革新性にあると考えています。過去5年間のパフォーマンスをみると、日本株式戦略の主力15戦略のうち11戦略がピアグループの中で第1四分位に入るなど、幅広い様々な投資スタイルや市場サイクルにおいて卓越したパフォーマンスをお届けすることができました」。

日興アセットは、現下の金利環境を受け、英国ロンドン拠点のグローバル債券チームが運用を担当し、米国や欧州の債券に投資する様々な商品を提供してきました。2016年度には日本国内の機関投資家ビジネスの純資金流入額が9,320億円にのぼり、私募ファンドの総設定額で国内第2位となりました。

アジアンインベスターはまた、日興アセットの2016年12月末現在の運用資産残高が前年比約8%増の約19兆9300億円へと成長したことも高く評価しました。また、ETF(上場投資信託)の純資産総額の合計は前年比29%増となり、4兆円を超える規模に成長しています。日興アセットは、国連の責任投資原則(PRI)により、アジアに本社を構える資産運用会社として唯一、日本株式のガバナンスに関して「A+」のレーティングを付与されています。

以上

「アジアンインベスター アセット・マネジメント・アワード」について

毎年アジアンインベスター誌により選出される「アセット・マネジメント・アワード」は、世界的に優れた運用会社のほか、アジア各地域において優れたローカルプレゼンスを誇る運用会社やETF運用会社、販売会社などを表彰するものです。詳細はアジアンインベスターの公式ウェブサイトをご覧ください

(英文): <http://www.asianinvestor.net/Category/190.awards.aspx>

※当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## ■リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

## ■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 上限4.32%(税抜4.0%)

換金手数料 上限1.08%(税抜1.0%)

信託財産留保額 上限0.5%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬(年率) 上限3.026%(税抜2.95%)

一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが弊社の運用する投資信託についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託をお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## 投資顧問契約および投資一任契約にかかる留意事項

投資一任契約に基づく投資、または投資顧問契約に基づく助言は、主に株式や債券など値動きのある証券(外貨建証券には為替変動リスクもあります)を対象としているため、お客さまの運用資産の評価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。

当該契約に係る主なリスクは以下の通りです。

①価格変動リスク、②流動性リスク、③信用リスク、④為替変動リスク、⑤カントリー・リスク、⑥デリバティブリスク、⑦マーケット・ニュートラル戦略およびロング・ショート戦略固有のリスク

### ■ご負担いただく手数料等について

#### ●投資顧問報酬

投資顧問契約および投資一任契約の対価として、投資資産残高(投資資金額が5億円以上であることが前提)に対して年率3.24%(税抜3.0%)を上限とした投資顧問報酬が契約期間に応じてかかります。また、契約内容によっては、固定報酬に加え成功報酬をご負担いただく場合があります。

#### ●その他費用

その他費用として組入有価証券の売買委託手数料などがかかる場合があります。

投資一任契約に基づき投資信託を組入れた場合は、投資信託の信託報酬、信託財産留保額、組入れ、解約等に際しての手数料等、組入有価証券の売買委託手数料、有価証券の保管などに要する費用、管理費用、監査費用、設立に係る費用、借入金の利息、借株の費用などがかかる場合があります。

### [ご注意]

- ※ 成功報酬、その他の費用については、運用戦略および運用状況などによって変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。
- ※ 上記のリスクや手数料等は、個別の契約内容等により異なりますので、契約を締結される際には、事前に契約締結前交付書面を十分にお読みください。

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

約 60 年に及ぶ実績を誇り、30 以上の国・地域から集まる人材を世界 11 カ国・地域に擁して、200 名超の運用プロフェッショナルが約 19.9 兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計 300 社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

\* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

\*\* 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2016 年 12 月末現在のデータ

### 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会